

ふじ丸 サンタ・クルーズ名古屋(1993/12/7~8)に参加して

久しぶりに MOPAS (商船三井客船) のクリスマス・クルーズに参加しました。

旧にっぽん丸の東京発クリスマス・クルーズには何度か乗船し、船仲間が集まる忘年会の場として楽しんできました。今回のふじ丸クルーズは名古屋発着であり、東海地区に住んでいる私にとってはわざわざ東京や神戸に出掛けていく必要がない分、時間的にも費用的にも参加しやすいクルーズとなり楽しみにしていました。

しかし、乗船する前から”ディナーが立食” ”航海時間が短い” という点に関して、これで船旅が楽しめるのかと危惧を持っていましたが、実際乗船してみて私の心配が現実になってしまいました。

出港風景をデッキからゆっくり味わってからレストランに行った私は、まず人の多さに驚かされました。そして料理にがっかりしてしまいました。料理の品数は少なく、一部の料理は補充もないため、遅れて行った私には口にするどころか、目にすることすらできなかった料理もありました。結局、空腹を十分に満たすことなくディナーは終わってしまいました。

これまでの MOPAS のクルーズでこんな経験をしたことはありません。

クリスマス・クルーズのような 1泊2日のクルーズでは、スケジュールの中に占めるディナーのウェイトは非常に大きいのではないかと思います。私の頭の中には、まずカクテルパーティーがあり、ちょっと舌を湿らせた後ディナーへ続くスタイルが当たり前のように浮かんで来ます。私が過去に乗船したクリスマス・クルーズもそうでした。テーブルを共にした旧知の知人や偶然隣の席になった初対面の人と楽しい会話をしながら落ち着いた雰囲気の中でフルコースのディナーを取ることで満足感を味わえる食事は他にありません。

ところが今回のディナーは立食でした。長期間のクルーズでは航海中の何回かを立食にして趣を変えらるというのも大切です。しかし、1泊2日のクルーズのたった1回のディナーを立食にするという考えには賛成できません。